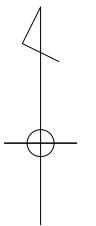


官民境界成果図

取り交わし図面の作成例

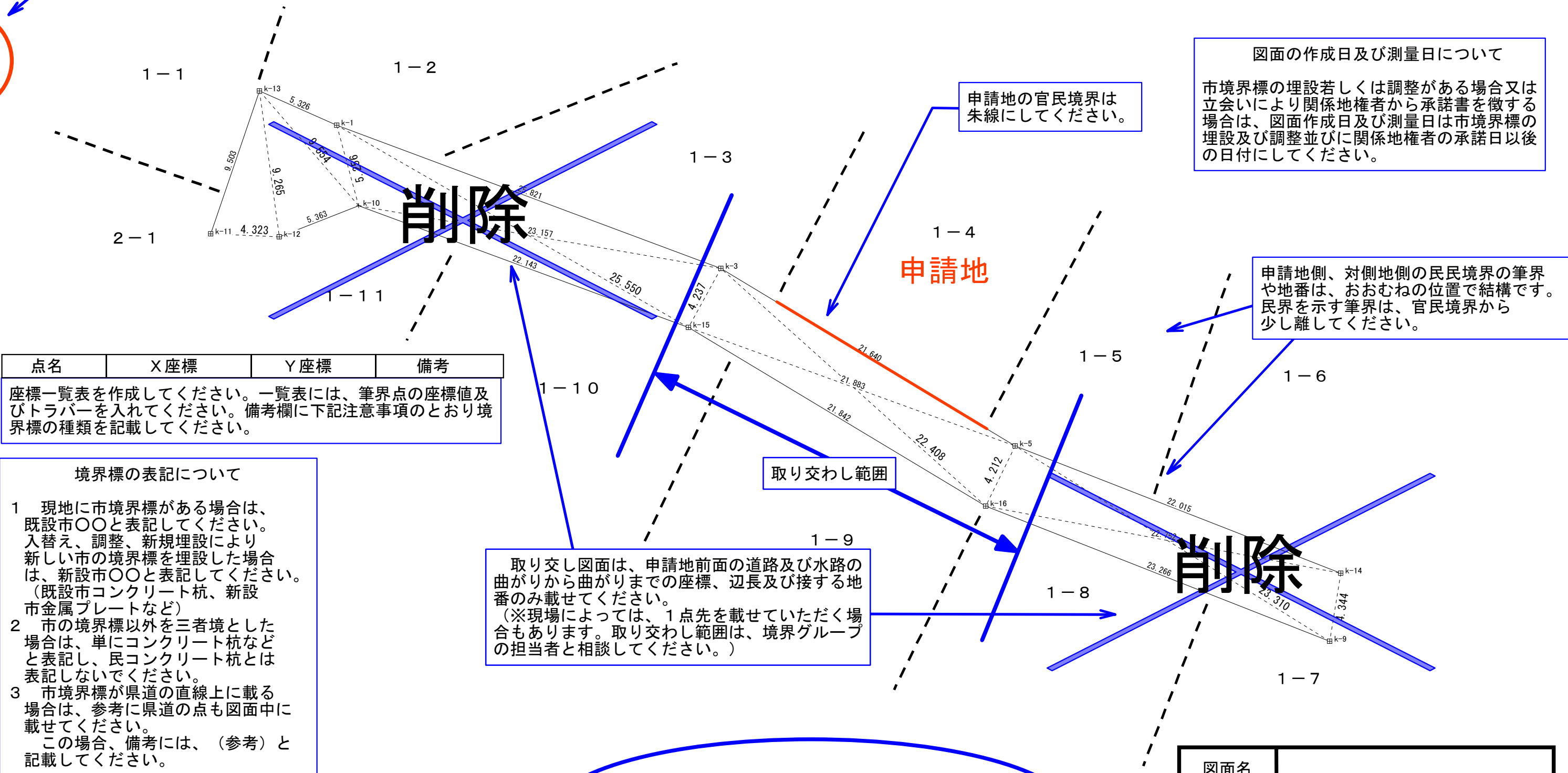


土地の所在 東松山市大字〇〇字〇〇地内

境界確認書2通は、表紙と取り交わし図面に申請人の認印（法人の場合は、代表者印）で割印をしてください。
（照合図面がある場合は、取り交わし図面の次に照合図面を添付し、併せて割印してください。）

割印

図面の作成日及び測量日について
市境界標の埋設若しくは調整がある場合又は立会いにより関係地権者から承諾書を徴する場合は、図面作成日及び測量日は市境界標の埋設及び調整並びに関係地権者の承諾日以後の日付にしてください。



点名	X座標	Y座標	備考
座標一覧表を作成してください。一覧表には、筆界点の座標値及びトラバーを入れてください。備考欄に下記注意事項のとおり境界標の種類を記載してください。			

- 境界標の表記について
- 1 現地に市境界標がある場合は、既設市〇〇と表記してください。入替え、調整、新規埋設により新しい市の境界標を埋設した場合は、新設市〇〇と表記してください。（既設市コンクリート杭、新設市金属プレートなど）
 - 2 市の境界標以外を三者境とした場合は、単にコンクリート杭などと表記し、民コンクリート杭とは表記しないでください。
 - 3 市境界標が県道の直線上に載る場合は、参考に県道の点も図面中に載せてください。
この場合、備考には、（参考）と記載してください。

取り交し図面は、申請地前面の道路及び水路の曲がりから曲がりまでの座標、辺長及び接する地番のみ載せてください。
（※現場によっては、1点先を載せていただく場合もあります。取り交わし範囲は、境界グループの担当者と相談してください。）

照合図面がある場合は、必ず右の文言を図中の余白に入れてください。
照合図面がない場合は、不要ですが測量日を別途記載してください。
（※照合図面の有無は、境界グループの担当者と相談してください。）

本測量図は、令和〇年〇月〇日の現地実測図であり、東松山市保管の道路境界確定図との各点間の辺長の差異については、誤差の範囲にあります。

図面名	実施機関、書類作成日等を入れてください。 （作成者印の欄に作成者の職印 土地家屋調査士等を押印してください。）
作成者	
作成年月日	
縮尺	